

都市再生整備計画(第8回変更)

ぐみょうじ まいたえきしゅうへん
弘明寺・蒔田駅周辺地区

かながわけん よこはまし
神奈川県 横浜市

平成23年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	弘明寺・蒔田駅周辺地区	面積	355 ha
-------	------	------	-----	-----	-------------	----	--------

計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 23 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

地域資源である桜並木の保全や公共施設の整備、防災機能の強化などの施策を総合的に推進することにより、大岡川プロムナードを軸とした区中心部において、災害に強い活力あるまちづくりを目指します。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 桜並木の続く大岡川プロムナードを軸とする平地部を中心としたエリアで、その周辺を7つの丘が取り囲んでいます。大正3年の路面電車開通に伴って早くから市街化が進み、横浜を代表する大規模商店街である弘明寺商店街を擁しています。
- 大岡川プロムナードで毎年開催される「桜まつり」に区内外から多くの観光客が訪れるなど、大岡川プロムナードの桜並木は南区のシンボルとなっていますが、樹勢の衰退が顕著で、半数以上の桜が治療や植え替えなどの処置が必要な状況です。そこで、平成17年度に区の花「さくら」を守り育てることを目指した「南区さくら保全・活用計画」(H18.3策定)を区民との協働で策定し、南区民共通の資産である大岡川プロムナード桜並木を将来の世代に良好な状態で引き継いでいくことを掲げました。さらに、平成18年度からはボランティアによる桜保全の取組も始まっており、区民参加によるまちづくりの機運が高まっています。
- 区民と協働で策定した横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン「南区のまちづくり」(H16.4策定)において、当該エリアを防災上の安全性を高めるとともに利便性の高い市街地としていくことを掲げています。また、公園等のオープンスペースを確保し、「緑の界隈づくり」を進めることについても掲げています。
- 横浜市中期政策プランにおいて、地域住民の交流や活動の場となるコミュニティハウスを中学校区に1カ所整備することを掲げていますが、当該エリア内に未整備地区が2カ所あります。

課題

- 大岡川プロムナードの桜を計画的に植え替えるとともに、桜の根上がりによるプロムナードの凹凸解消を目指して、歩行者にも桜にも優しいプロムナードづくりを進める必要があります。
- 南区の都市軸である大岡川プロムナードに架かる橋の安全性を向上させる必要があります。
- 地域住民の憩いの場や防災上のオープンスペースを確保する観点から、公園の整備を進める必要があります。
- 地域住民の交流や活動の場として利用できる公共施設が不足しており、整備を進める必要があります。
- 周辺の様々な環境整備を行うことによって、弘明寺商店街

将来ビジョン(中長期)

- 横浜市都市計画マスタープラン・南区プラン「南区のまちづくり」では、当地区について次のように定めています。
 - ・防災上の安全性を高めるとともに、住宅・商業・業務等が共存・複合する、利便性の高い市街地として形成をはかります。
 - ・『川のまち』の公園と『丘のまち』の公園をむすび、広がりのある緑の環境を創出します。
 - ・大岡川などの河川空間を活かし、水に親しみながら散策できるプロムナード化・緑化など、水の軸を形成します。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度	従前値	目標年度	
桜まつり来場者数	千人	桜まつりへの来場者数	桜の保全等により、まつりへの来場者数が増加する。	150千人	160千人	平成18年度	平成23年度
公園面積確保率	%	地区面積に占める公園の面積	防災公園の整備により、公園面積の占める割合が増加する。	4.70%	5.30%	平成18年度	平成23年度
区民利用施設の利用者数	千人/年	地区センター、コミュニティハウスの年間利用者数	コミュニティハウスの整備により、地区内区民利用施設の利用者数が増加する。	226千人/年	250千人	平成17年度	平成23年度
南区さくらボランティア加入者数	人	大岡川プロムナードの桜保全・普及活動団体の加入者数	桜の保全等により、区民のまちづくりへの関心が高まる。	31人	45人	平成18年度	平成23年度

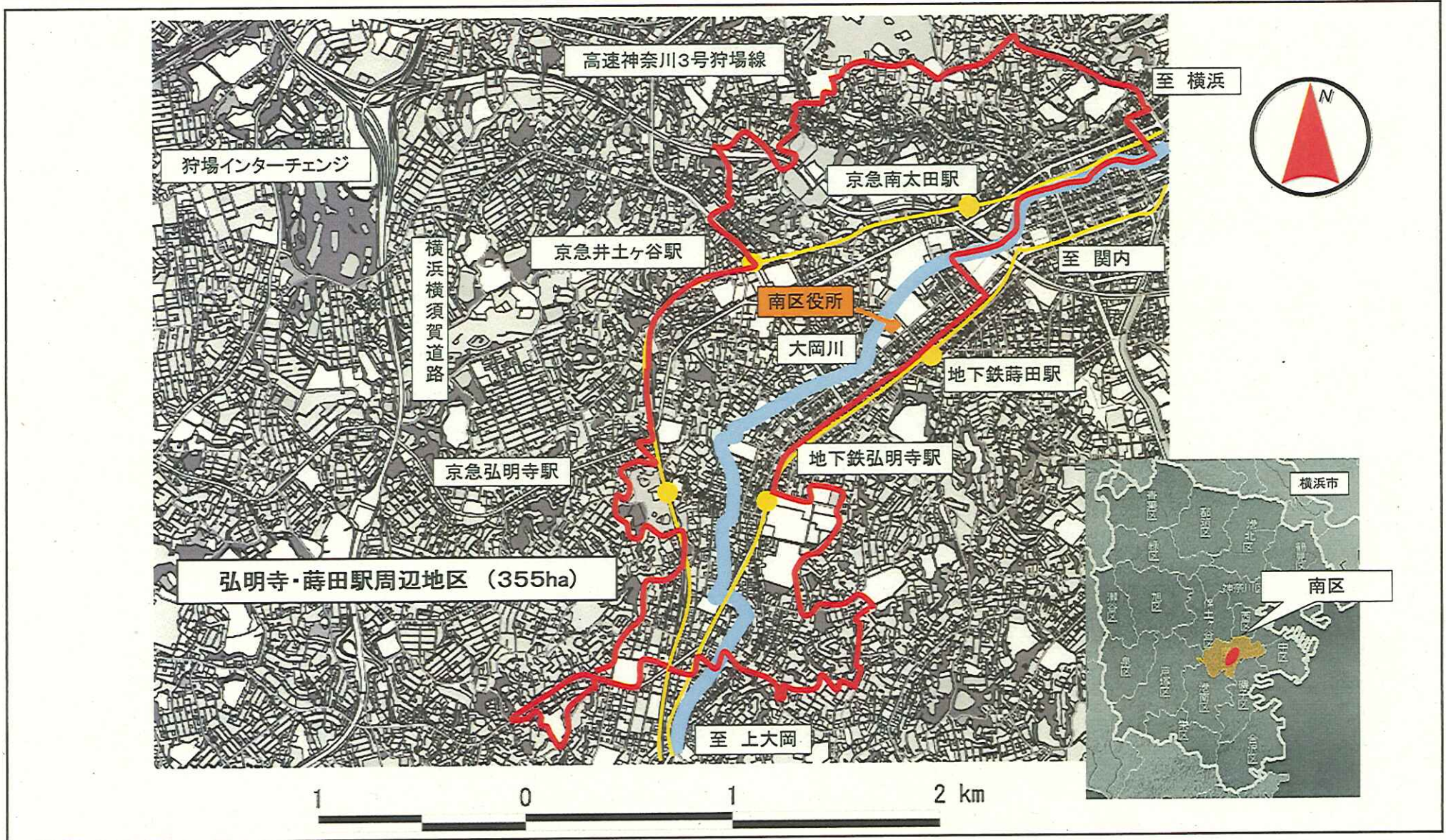
都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力向上による活性化を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・大岡川プロムナード再整備事業 ・(仮称)大岡二丁目公園整備事業 ・(仮称)蒔田コミュニティハウス整備事業 ・(仮称)別所コミュニティハウス整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能の向上を図る事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)大岡二丁目公園整備事業 ・三春台公園 ・井土ヶ谷橋架替事業 ・花見橋架替事業 ・南センター耐震補強工事

その他
 なお、(仮称)大岡二丁目公園については、災害時の火災の延焼を防ぐなどの防災機能の向上を図る事業として位置づける。

都市再生整備計画の区域

<p>弘明寺・蒔田駅周辺地区(神奈川県横浜市)</p>	<p>面積 355 ha</p>	<p>区域 南区清水ヶ丘、庚台、三春台、伏見町、南太田一～四丁目、井土ヶ谷上町、井土ヶ谷中町、井土ヶ谷下町、花之木町一～三丁目、宿町一丁目、二～四丁目、宮元町二～三丁目、別所一丁目、別所三丁目、中里一丁目、中里町、弘明寺町、大岡一～三丁目、大岡二丁目、大岡町一～三丁目、中島町一～四丁目、永田南一丁目、永田東一丁目、永田西一丁目、六ツ川一丁目、通町一～四丁目、前里町一～四丁目、白金町一～二丁目、西中町</p>
-----------------------------	------------------	---



弘明寺・蒔田駅周辺地区(神奈川県横浜市) 整備方針概要図

目標	地域資源である桜並木の保全や公共施設の整備、防災機能の強化などの施策を総合的に推進することにより、大岡川プロムナードを軸とした区中心部において、災害に強い活力あるまちづくりを目指します。	代表的な指標	桜まつりへの来場者数 (人)	150千人	(18年度)	→	160千人	(23年度)
			公園面積確保率 (%)	4.70	(18年度)	→	5.30	(23年度)
			区民利用施設の利用者数 (人/年)	226千	(17年度)	→	250千	(23年度)

